



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 25号
2008年 10月 20日
編集兼発行人
森 俊郎

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



“陸に上がった「烏帽子岩」”
使用カメラ:Nikon D80
シャッター速度:1/100 秒 絞り:F8.0
撮影者: 大津 博昌
解 説: 2008年 9月 19日同好会行事第 35
回歩こう会“日立海岸を歩く”が水木海岸
～日立海岸口のコースで行われた。その途
中、その昔河原子海岸へ海水浴で訪れた際、
海中で波に洗われ鎮座し、風情あった「烏
帽子岩」が、海岸側に堤防が築かれ波打ち
際から離れ、遊歩道と安全柵設置、石垣で
補強、すぐ横に舗装道まででき、この様変
りした姿をじかに見た参加者の多くが、私
を含めて昔の姿を憶い出し感慨深いものが
あったと思います。

リレー随筆 (25) 風評打破 10年「健康麻將」 田島 増陸



「麻將」と云う文字を知っていますか？ この文字は日本で発案した造語で「マーじゃん」と読み、健康麻將はく賭けない・飲まない・吸わない>を実践項目として、マナー重視の賭けないマーじゃんのことで。中国は現在、この造語を逆輸入して使用しています。更に健康麻將は、逆転の発想を常に持って、計算をしながら競技を進めること等から、頭脳スポーツとして認められ、厚生労働省が後援し“ねりんピック”の公式種目として推進しています。

健康麻將が市生涯学習活動の一つに・・・

1995年、当時70歳でしたが、百年塾に入会し「市民教授」になりました。指導分野は、戦争体験談として、終戦時の満州のこと、ソ連抑留のこと、食育の大切なことなどを、小学6年生から大学生並びに市民を対象に、13回に亘りお話ししました。また、施設の高齢者及び子供を対象にマーじゃん牌を利用したビンゴゲーム方式の楽しい遊び方教室を開設しました。

1996年頃より、主婦をはじめとする女性から「公民館で囲碁、将棋を教えているのに、なぜ市はマーじゃんを教えてくれないのですか、主人、子供たちと共に家庭団欒のためにも是非やりたい。“お茶出し”だけでは・・・」との強い要望と進言が出始まりました。

そして、翌年1997年に、市の支援により会場、用具置場の提供を受け「坂下公民館」に「女性マーじゃん教室」を開設しました。諸道具一式は私財投入で、<賭けない・禁煙・禁酒>を「決まり」としました。

さらに健康麻將の普及を目指して・・・

参加人員の増加により会場の移転が続き、2001年に中小企業福祉センターへ(7卓～8卓)、また、2005年に、市「かねはた」複合老人福祉施設・多目的ホールに移

転(9卓～13卓)しました。

一方で、より良い教室を目指して、先ず教室の目標を設定し、①健康(頭脳、指先を使い被介護防止)②良い人間関係(良いお友達を作る)③ストレス解消(家庭団欒につなげる)などです。次に運営の改善を行い、①サークル部門とスクール部門に分けた②レベルを3段階に分けて研修を進めた、などです。更に、会員の内容改善ほかとして、①高齢者、躰の一部不自由な方も会員に含め、椅子方式にした②人員数45～50名13卓となり、夫婦の入会者も増えた③平均年齢70歳、女性参加率80%、最高齢は93歳(女性)、皆計算も早く元気です④研修期間4回/月12時～16時半。

その後、同じモットーの「日本健康麻將協会」に入会して、我が教室も「日立健康麻將教室」と改名しました。協会に加入したことにより全国100個所のグループとの交流ができ、卓上競技会には毎回参加し、研修も意欲的になってきています。そして、入賞者が出たり、2008年度には1名が名人戦に出るまでとなりました。しかし、「日立健康麻將教室」の本志は、あくまでも高齢者が元気で楽しく研修を続けることを第一義として推進していく方針でいます。

今後も、益々増え続ける高齢者の楽しみとして、囲碁・将棋並みに普及が進むよう及ばずながら主宰者として努めて参りたいと思います。



日立健康麻將教室での研修風景

イギリス湖水地方へのお誘い

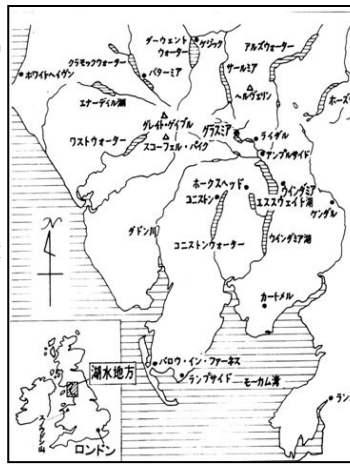
《ご自身のライフスタイルを見直すきっかけに!》

武田 孝一



私自身の現在までの外国旅行のなかで、また是非もう一度行ってみたいところ、と聞かされたら、迷わず答えるのが、「イギリス湖水地方」である。

実は大学二年生のときに、演習で、ワーズワース(一七七〇—一八五〇)の自伝的長編叙事詩『序曲』The Prelude を読んだ。その後、沢山の資料に目を通し、参考文献を読み、遂に昭和五年の五月連休に、現地を一人で訪れる機会を得た。



「イギリス湖水地方」は、イギリスで一番美しいところといわれており、主なる湖だけでも一〇、小さな沼は五〇〇以上もある。これらの湖は今から四五〇〇年も前に、北極からの氷河によってできたものであり、湖と云っても、実際は、川の幅がひろがったものといえる。面積は二二八〇平方キロという国立公園で、大きさは東京二三区よりもちよつぱり大きな程度である。全体がゆるやかな丘陵地帯で、その多くは家畜の放牧に利用されており、その中でも一番高い山はスコップフェルパークといふ、標高九七七メートルである。この地域一帯は、四季を通じて、さまざまな景色が見る者の目を楽しませてくれる。春の花々、夏の木々の繁り、秋の紅葉、そして冬は一面の雪景色、まさに、この地は美しい景色のところばかりなのである。

に、沢山の観光客がきてこの地を汚したり、荒らしたりしないようにしよう、この地に、ナショナルトラストの運動が起こったのは、至極当然と思われれるのである。社会改良家のオクタビア・ヒル女史、牧師のハードウィック・ロビンズ、そして、鉄道線を湖水地方入り口ウインダミア湖畔で止めてしま、それ以北の地域の俗化を防いだ。五月連休頃がベストと申し上げたい。ロンドンの北の駅、ユーストンから特急インターステイに乗って、四時間ほど北上し、オクスノムという乗換駅に降り立ち、そこから、支線の終点ウインダミア駅に向かう、ということになる。

列車がいつたん郊外へで前にはひろがるのは、どこまでも緩く続く丘陵、牧草地帯となる。牛、羊、綿羊、ヤギ、とくに馬などがゆつたりと餌を食む景色が一面の菜の花畑の向こうに見えてくる。そして、家々の庭には、今を盛りするラップ水仙、パンジー、れんぎょう、屋根まで届くほどの石楠花が咲き誇っている。その間に、ぼつんとぼつんと建っている煉瓦と漆喰の、みるからに古そうな、そのあのまま、とみえる家々・五百



湖水の一風景



丘陵と牧草地帯

れら集落の中心には、屋根のてっぺんに鐘楼や十字架を、いたる窓からでる、電柱と野立てたのは、かなり遠くまで走って来たはずの列車の影を、ない、とこの野も変わらな、その景色がどこまで行っても変わらない海の色支配したところの威光はとうに失せし人々は、よく聞くことである。自然環と、先祖から受けて、美しい自然環境と、先づ、マイペースでゆつたりと暮らすライフスタイルを身につけてしまっ



ダブコテージ

朝、早くロンドンを出立したこともあって、まだ、太陽も高く、途中タクシーの窓から確認しておいた、コートジューズは、ワーズワース一家が住んだ「ダブ」の前の二階は、旅籠屋であった。入り口向かいの事務所で切符を求め、黒いスレート葺きの床、石炭の煙ここれ、この土地からのピート(泥炭)が燃えている。そう、この厨房では、クリスマスの伴奏に合わせ、一家が、踊ったのだ。二階の寝室キルトのベツッドカバーには、脆いように、と日本語の訴えもカードに記されている。壁の大型のペーストは、詩人がフランクスへ行つたときのもの、身長や身体の特徴に加えて、目の色(瞳

の)が記されていた。冬でも、暖房を使わせ、防ぐため、新音が貼った、年代だけ、の、価値あるもの、二階の応接間兼書斎からは、そのままた、グラスミア湖を眺めることができた。なぜか、私には、ワーズワース本人が、「タケダさん、現ね」と扉の影からでも、ふいに戻ってきた、きそうな気がした。ホテ、木の組の柱の教会で、北側の教会墓地には、詩人一家が寄り添うように、川に葬られて、水が清澄な影を落として、どこまでも風情だんだん、流れを見守っている

次の日は、幼くして、両親の死にあつたワーズワースが預けられた、アン・タイソンという、母の親代わりをしてくれた夫人、営む下宿屋や、さらには、彼らのつたホークスヘッド・グラマー・スクールを訪ねた。や、傾斜地に建つ学校の道を降って、くまなく、前には詩人が厳冬の夜更けまで、友達とスケイト湖を見えてきた。ベスエイト湖が静かだったので、すべの息吹音が絶えて、静かだったので、然の息吹音が絶えて、静かだったので、ように思われたのであつた。

死にあつたワーズワースが預けられた、アン・タイソンという、母の親代わりをしてくれた夫人、営む下宿屋や、さらには、彼らのつたホークスヘッド・グラマー・スクールを訪ねた。や、傾斜地に建つ学校の道を降って、くまなく、前には詩人が厳冬の夜更けまで、友達とスケイト湖を見えてきた。ベスエイト湖が静かだったので、すべの息吹音が絶えて、静かだったので、ように思われたのであつた。



ダブコテージ室内

武田孝一 連絡先
郵便番号 三一六一〇〇一四
日立市東金沢町二一一一三
電話 〇二九四二二六六一四六九

同好会行事に参加して



「写真五七五」 高橋 秀信

写真五七五がスタートしてから一年半。最初は写真、俳句とも全くの素人で心配でした。しかし、参加してみると想像以上に楽しく、特にメンバーの中に写真、短歌、俳句、川柳とそれぞれ得意な方々がおられて、丁寧に教えていただけることがなによりです。写真五七五はとても自由な世界です。写真は日常や旅行のスナップでも良く、文章は俳句でも、川柳でも、要は五七五調で自分の感じたままを表現すればよいわけです。五七五という短い文章で表現するポイントや言葉、言い回しなどは例会の席上でざっくばらんな意見がもらえます。今では日常の中であれこれ題材を考え、月一回の例会が待ち遠しいほどです。どうぞ気軽に参加してみませんか。



「卓球クラブ」 山口 雅教

毎日家にいるようになり、楽しみと健康維持のため、これまで時々楽しんできた卓球をしようと思いました。インターネットで、社友クラブの同好会があることを知り、しかも幹事の方が顔見知りであったこともあり、参加させていただくことにしました。

私の卓球歴は中学校のクラブ活動で1年程度、その後会社の部対抗の度に思い出したように練習するという程度のものでした。同好会には上手な方もおられ、その方々と一緒に練習して汗をかくだけでなく、いつまでも俊敏な反射神経を維持しつつ、技術も向上できると思うと益々楽しくなります。同好会の皆様よろしくお願いたします。



「マルチメディア研究会 (MM研)」 山田 和夫

私はMM研発足当初からのメンバーです。MM研が発足したのは平成13年7月、回を重ねて平成20年8月には第64回になりました。平成13年1月「パソコン極楽サロン」で外山仁一さんに画像・映像・音楽に関する紹介を頂き、これを契機に遠藤宗宏さんの呼びかけで8名の有志が集まり「MM研」がスタートしました。多方面を扱うので「マルチメディア研究会」と名づけました。当初はスライドショーの作成や各種ソフトの勉強、毎回外山さんに先進的な技法の紹介をしていただき、会員はその応用の勉強をしました。現在登録メンバーは18名、最高齢は84歳。現在FlashやJavaScriptの勉強など実施中です。参加して楽しく、学んだことを応用して成果に満足、毎回欠かさず参加しています。頭脳の退化防止に好適です。皆さんも参加して一緒に楽しいひと時を持ちましょう。

支部からの お知らせ

理事会・茨城支部役員会報告

*第57-4回 日立社友クラブ理事会報告

1. 開催日：平成20年9月4日（木）
 - ・理事会に先立ち、小平浪平翁墓所（谷中霊園）・墓参を金井理事長以下全理事にて行った。
2. 議事
 - ・会員移動状況：会員候補者から40名が入会許可され、会員数は4796名となった。
 - ・第58回日立社友クラブ総会の件：10月3日（金）ホテルニューオータニで実施する。
 - 長寿祝：白寿4(2)名、米寿51(39)名、喜寿182(140)名。（ ）内は去年の人数

*第20-5回 茨城支部役員会報告

1. 開催日：平成20年9月19日（金）
2. 議事：
 - ・会員移動状況：新入会者候補3名が入会許可され会員数は1,071名となった。60歳到達時の入会者が少なく、会員数の先細りが懸念されるので、(a)入会案内と共に入会意思の有無を問うハガキを送る (b)現状ではグループ会社転出者の把握ができず、入会案内を送ることができないので、茨地区としてどうしたらいいのか日立事業所と支部役員とで別途具体策を協議する (c)機会ある度に友人・知人に口頭で勧誘する、などの対策を進める。
 - ・平成20年度予算案審議：事務局より、平成20年度予算に対する9/16現在の実算並びに年度末見通しの説明があった。今後、会費未納入者に対する督

促状発送と昨年並みの納入率が予算達成の鍵となる。
・社会との接点・創業100周年に向けて：
「日立理科クラブ」設立に関して、佐藤支部長から進捗状況についての説明があり、茨支部として設立に向けて協力することになった。

“理科室のおじさん” 募集！

「日立理科クラブ」では、子供たちの理科の相談と指導を担当する“理科室のおじさん”を募集しています。理科の実験、モノづくりの体験を通じて子供たちと話し合おう。子供たちがシニアエンジニアの皆さんをお待ちしています。(詳細チラシ・HP参照)

支部長 佐藤一男

訃報

真に残念ですが、苦楽を共にした下記の方がお亡くなりになりました。

衷心よりご冥福をお祈り致します。

島崎 篤夫	平成20年 6月24日	享年 65歳
廣吉 秀高	平成20年 6月13日	享年 87歳
市川 国雄	平成20年 8月13日	享年 72歳
小林 弘昌	平成20年 10月 4日	享年 73歳
平野 重光	平成20年 10月 4日	享年 83歳

編集後記 茨支部便りは、会員皆様の貴重な会費によって作成されております。内容の充実の為にも、ぜひ納入率を上げたく思います。ご協力、宜しくお願致します。リレー随筆、田島さんの「健康麻將」頭と指を使いまさに長寿の秘訣でしょう、益々のご健勝をお祈り致します。

森 俊郎

同好会の行事ご案内(11月～1月)

1. 第36回歩こう会【霞ヶ浦湖畔コース】

- 秋の霞ヶ浦を眺めながら、土浦駅から自衛隊武器学校までを歩く、昼食は自衛隊々員食堂で体験
- ・開催日：平成20年11月12日(水)
 - ・集合場所時刻：土浦駅東口、AM10:00
 - ・コース(往路)：土浦駅東口出発→櫻川南岸土手→国民宿舎水郷→オランダ風車→霞ヶ浦高校→自衛隊武器学校迄片道5.6Kmのオール平坦コース。(復路)：往路の逆、尚希望者は路線バスあり。
 - ・会費：保険料・昼食込みで500円/人
 - ・申込期限：平成20年10月22日(水)
 - ・申込先：垣貞玲吉 Tel/Fax. 029-3274-1727
E-mail: ryk888@pure.ocn.ne.jp

2. 第20回歴史探訪【松尾芭蕉縁の地を訪ねる】

- (栃木県黒羽町、雲巖寺、玉藻神社等を訪ねます)
- ・開催日：平成20年11月18日(火)
 - ・集合場所：日立駅海岸口7:30 予定詳細は後報
案内者：八巻秀雄
 - ・会費：2,500円(予定)
 - ・募集人員：35名先着順
 - ・申込先：薄 浩八 Tel/Fax: 0294-35-9121
E-mail: k-usuki@mwa.biglobe.ne.jp

3. 第38回研修会 [JAXA 宇宙センター他見学]

- ・開催日：平成20年11月28日(金)
- ・見学先：宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター
農業食品産業技術総合研究機構果樹研究所
アサヒビール茨城工場
- ・集合：大甕駅(常陽銀行大甕支店前) 8:00
JR大甕駅上り 8:06着、下り 8:01着
での参加者の到着を待って出発
サンピア日立 8:10
- ・会費：3,500円(予定)(バス代、昼食代他)
- ・募集人員：35人(参加者25人以上で催行)
- ・申込期限：平成20年11月14日(金)
- ・申込先：小口伊佐男 Tel/Fax: 0294-37-3048
E-mail: isao_oguchi@lake.ocn.ne.jp

2008年写真展開催のお知らせ

デジカメクラブ、野鳥自然観察グループ
写真五七五グループ共同開催の写真展
皆様のご来場をお待ちしています

- ・日時：12月4日(木)12:00～6日(土)15:00
- ・場所：多賀市民プラザ内、1Fギャラリー
知人へのPRもよろしくお願ひします!
(世話人代表：デジカメクラブ大津博昌)

4. 定例行事予定一覧表

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		11月	12月	1月				
野鳥・自然観察の会	小林 康浩 0294-34-2870 koba84y@nifty.com	17(月)			涸 沼	9:00～ 12:00	参加費:¥200 原則として 雨天中止	
			15(月)		鶺鴒の岬			
				19(月)	千波湖			
囲碁の会	日立地区 安藤 捷治 0294-37-0759 sh-andou@net1.jway.ne.jp	12(水) 26(水)	10(水) 24(水)	14(水) 28(水)	東暁館別館	10:00～	参加費:¥100/回 大会:¥1300	
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	20(木)	18(木)	15(木)	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700	
料理教室	澁口 七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	10(月)	8(月)	13(火)	山本料理学院	10:00～ 12:00	参加費:¥2000/回	
卓球クラブ	後藤登喜雄 0294-35-6523 t.gotoh@net1.jway.ne.jp	6(水) 19(水)	3(水) 17(水)	7(水) 21(水)	大みか体育館	10:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年	
デジカメクラブ	大津 博昌 0294-42-3255 ohtsu-h@net1.jway.ne.jp	6(木)	1(月)	5(月)	撮影会以外は 東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む	
写真五七五	八巻 秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	7(金)	5(金)	9(金)	東暁館別館	9:30～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	シニアPC I 大越 健児 0294-37-4931 ken-ooko@muc.biglobe.ne.jp	17(月)	15(月)	19(月)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食別途	
		25(火)	23(火)	27(火)				
	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@hb.tp1.jp	4(火)	2(火)	6(火)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	基礎講座	山田 和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	11(火)	9(火)	13(火)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1400/回 昼食代含む
	極楽サロン	島田 勇一 0294-34-4467 yshimada@ng.ejnet.ne.jp	20(木)	18(木)	15(木)	東暁館別館	10:15～ 15:00	参加費:¥1200/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	26(水)	23(火)	27(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
MM研	藤原 延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	24(月)	22(月)	30(金)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む	

専門講座の日程<Dreaweaver8S 勉強会：原則第1木曜日、Illustrator CS2 勉強会：原則第4木曜日>